

水でくらしを支える



三重県企業庁
マスコットキャラクター
「みずたまくん」

三重県企業庁

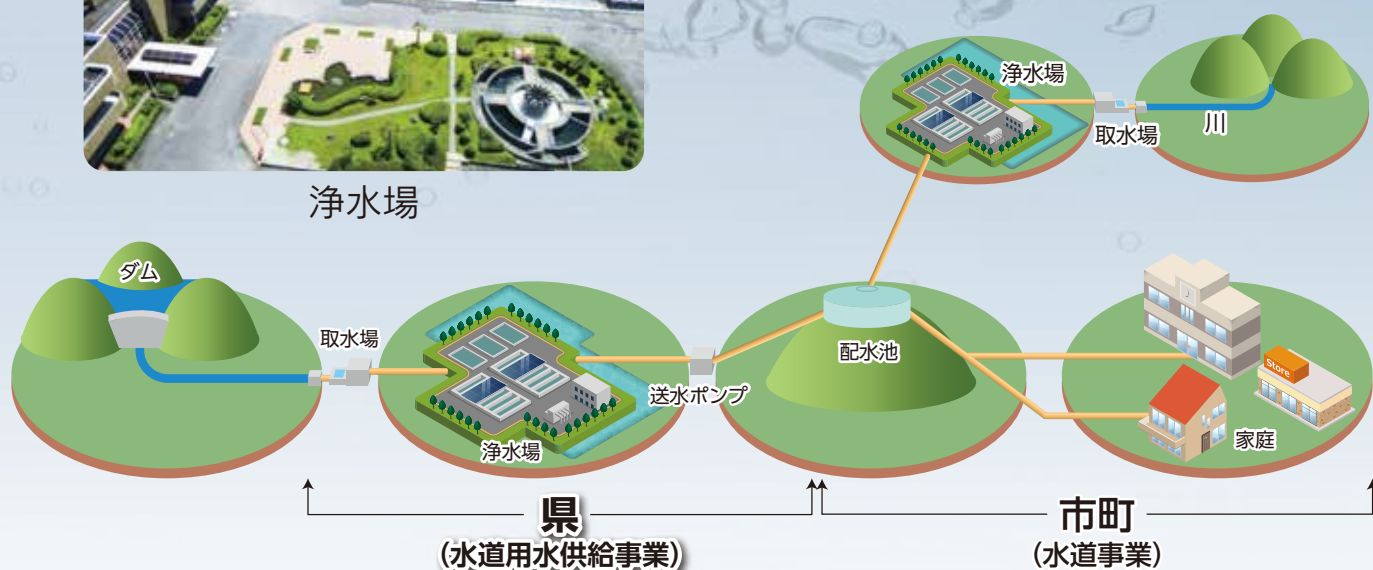
三重県企業庁は市町とともに
ご家庭に水道水をお届けしています。

日常生活に欠かせない「水道用水」を県内 18 市町に供給しています。

三重県企業庁は、県が経営する公営企業です。日常生活や経済活動に欠かせない水道水を安定してお届けするために、徹底した管理のもと、さまざまな設備で水を処理して、県内の水道水の約 30%にあたる「水道用水」を 18 市町に供給しています。



浄水場



強靱な水道施設の整備

令和7年1月に埼玉県八潮市で発生した下水道管路の破損に伴う道路陥没事故をはじめ、全国的にインフラ施設の老朽化、劣化に伴う大規模な事故が発生しています。また能登半島地震では、生活用水が長期にわたり断水し、住民の皆さんの生活に大きな影響を与えたため、水道水や水道施設の重要性が再認識されています。

三重県企業庁では南海トラフ地震や近年頻発する自然災害への対応とともに、AI やビッグデータなども活用し、耐用年数、劣化状況等を総合的に判断して効率的な老朽化対策を進め、強靱な水道施設の整備をめざします。



調整池（水を貯めるタンク）の耐震補強

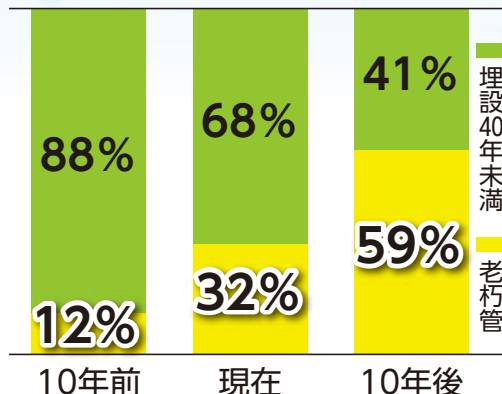
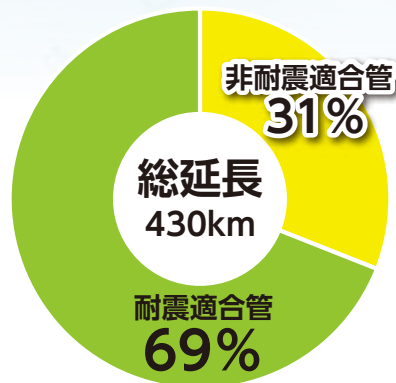
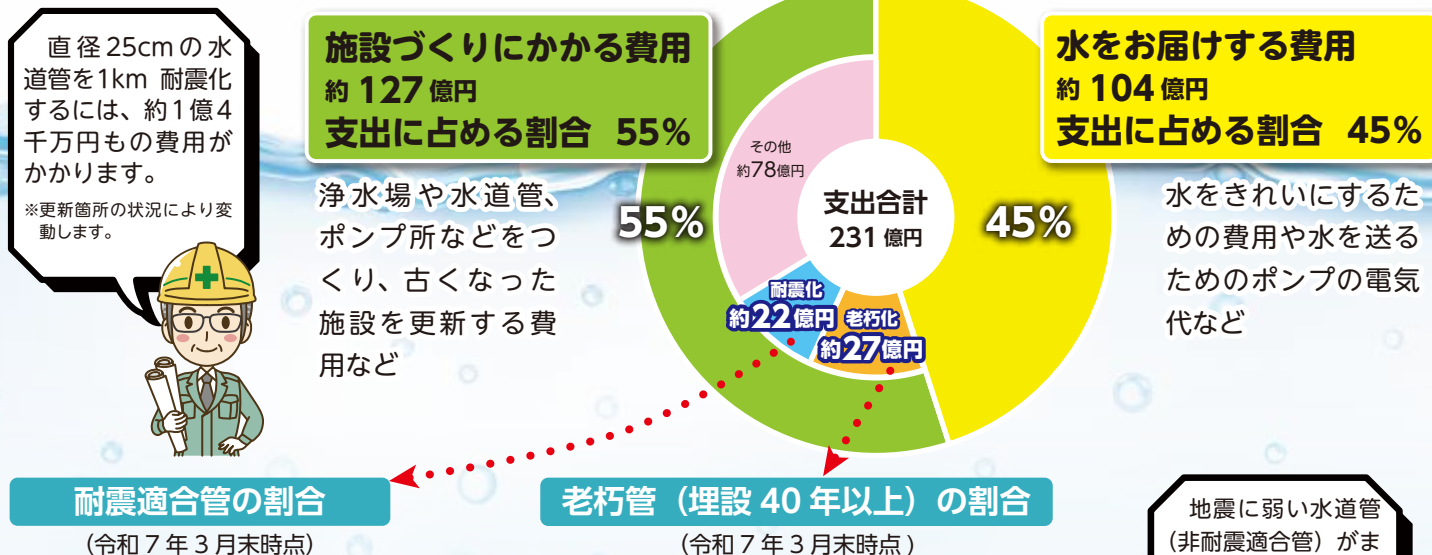


地震に強い耐震管へ

水道事業予算（令和7年度）

令和7年度の水道事業予算において、強靱な水道施設を整備するため、耐震化の費用約22億円、老朽化対策の費用約27億円を計上しています。

県営水道の施設づくりや、水をお届けするための費用には市町の水道事業を通じて皆さんからいただいた水道料金の一部が使われています。



地震に弱い水道管（非耐震適合管）がまだ31%あり、今後、老朽化の進行も見込まれるため、引き続き「耐震化」や「老朽化対策」の取り組みが必要です。